

安全データシート(SDS)

1.製品及び会社情報

製品の名称	ストップオーダー99
供給者の会社名	株式会社前田シェルサービス
所在地	愛知県岡崎市池金町字金山76-4
担当部署	環境商品事業部
連絡先電話番号	0564-48-2411
FAX番号	0564-48-6500
緊急連絡電話番号	0564-48-2411
推奨用途	工業化学臭用で、工場での添加および化学プロセス添加用です。

2.危険有害性の要約

GHS分類	
物理化学的危険性	引火性液体 : 区分3
健康に対する有害性	皮膚腐食性及び刺激性 : 区分2 皮膚感受性 : 区分1 特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 区分2(視神経)
環境に対する有害性	水生環境有害性(急性) : 区分2 水生環境有害性(長期間) : 区分2

GHSラベル要素
絵表示



注意喚起語
危険有害性情報

警告
引火性液体及び蒸気
皮膚刺激
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
長期にわたる、又は反復ばく露による視神経の障害のおそれ
長期継続的影響により水生生物に毒性

注意書き
安全対策

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。ー禁煙。
容器を密閉しておくこと。
容器を接地すること/アースをとること。
防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用すること。
火花を発生させない工具を使用すること。
静電気放電に対する予防措置を講ずること。
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
取扱後はよく手を洗うこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
環境への放出を避けること。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡を着用すること。

応急処置

皮膚に付着した場合: 多量の水と石けん(鹼)で洗うこと。
皮膚(又は髪)に付着した場合: 直ちに汚染された衣類を全て脱ぎ、皮膚を流水、シャワーで洗う。
気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受けること。
皮膚刺激が生じた場合: 医師の診断/手当てを受けること。
皮膚刺激または発しん(疹)が生じた場合: 医師の診断/手当てを受けること。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
火災の場合: 消火するために適切な消火剤を使用すること。
漏出物を回収すること。

保管
廃棄

日光を避け、容器を密閉し換気の良い涼しいところに施錠して保管すること。
内容物や容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に依頼して廃棄すること。

3.組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

化学物質名	官報公示整理番号		CAS No.	濃度又は濃度範囲
	化審法	安衛法		

非イオン界面活性剤	情報なし	情報なし	68439-46-3	16～18%
水	情報なし	情報なし	7732-18-5	10～12%
キシレン・スルホン酸ナトリウム	(3)-1909	情報なし	1300-72-7	3～4%
d体リモネン	(3)-2245	3-(4)-187	5989-27-5	4～6%
桂皮アルデヒド	(3)-1148	情報なし	104-55-2	10～12%
酢酸イソボルニル	(4)-1216	情報なし	125-12-2	8～10%
n体酢酸ペンチル	(2)-733	情報なし	628-63-7	1～2%
酢酸2-メチルブチル	(2)-733	(2)-733	624-41-9	1～2%
メチル・サリチル酸	(3)-1585	情報なし	119-36-8	12～16%
非開示	-	-	-	非開示

4. 応急措置

吸入した場合	新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪い時は医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	皮膚を速やかに洗浄すること。 皮膚刺激があれば、医師の診断、手当てを求めること。 脱いだ衣類を再使用する前に洗濯し汚染除去すること。
眼に入った場合	コンタクトレンズを着用している場合は外すこと。洗浄を続けること。 水で数分間、注意深く洗うこと。 眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。
飲み込んだ場合	速やかに口をすすぎ、医師の診断を受けること。 吐かせる。ただし、嘔吐物が気管に入らないように身体を斜めにする。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 応急措置をする者の保護 医師に対する特別な注意事項	蒸気の吸入によりめまい、し眠、頭痛、嘔吐痛、中枢神経系に影響を与え、意識低下を引き起こす。 ばく露により、眼の発赤、皮膚の乾燥、発赤を起す。 救助者は、状況に応じて適切な保護具(有機溶剤用の防毒マスク等)を着用する。 安静に保ち、医学的な経過観察が不可欠である。

5. 火災時の措置

消火剤	小火災: 二酸化炭素、粉末消火剤、散水、耐アルコール性泡消火剤 大火災: 散水、噴霧水、耐アルコール性泡消火剤
使ってはならない消火剤 特有の危険有害性	棒状注水 火災によって刺激性、毒性、又は腐食性のガスを発生するおそれがある。 引火性液体及び蒸気 加熱により容器が爆発するおそれがある。
特有の消火方法	散水によって逆に火災が広がるおそれがある場合には、上記に示す消火剤のうち、散水以外の適切な消火剤を利用すること。 引火点が極めて低い: 散水以外の消火剤で消火の効果が大きい大きな火災の場合には散水する。 危険でなければ火災区域から容器を移動する。 移動不可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却する。 消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。
消火を行う者の保護	消火作業の際は、適切な空気呼吸器、科学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、 保護具及び緊急措置	作業者は適切な保護具(8.ばく露防止及び保護措置の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。 漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。 直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。 関係者以外の立ち入りを禁止する。 漏洩しても火災が発生していない場合、密閉性の高い、不浸透性の保護衣を着用する。 風上に留まる。 低地から離れる。 密閉された場所に入る前に換気する。
環境に対する注意事項 封じ込め及び浄化の方法 及び機材	河川等に排出され、環境へ影響を起さないように注意する。 回収・中和: 少量の場合、乾燥土、砂や不燃材料で吸収し、あるいは覆って密閉できる空容器に回収する。 少量の場合、吸収したものを集めるとき、清潔な帯電防止工具を用いる。 大量の場合、盛土で困って流出を防止し、安全な場所に導いて回収する。 大量の場合、散水は、蒸気濃度を低下させる。しかし、密閉された場所では焼却を抑えることが出来ないおそれがある。 封じ込め及び浄化方法・機材: 危険でなければ漏れを止める。 漏出物を取扱うとき用いる全ての設備は接地する。 蒸気抑制泡は蒸気濃度を低下させるために用いる。 二次災害の防止策: すべての発火源を速やかに取除く(近傍での喫煙、火花や火災の禁止) 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所での流入を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	『8.ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。 『8.ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。
安全取扱い注意事項	周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。 容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずるなどの取扱いをしてはならない。 取扱い後はよく手を洗うこと。 接触、吸入又は飲み込んではいならない。 皮膚との接触を避ける。 ガス、蒸気、ミスト、スプレーを吸入しないこと。 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。
接触回避 衛生対策	『10.安全性及び反応性』を参照。 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。
保管	
安全な保管条件	技術的対策: 保管場所は壁、柱、床を耐火構造とし、かつ、はり在不燃材料で作ること。 保管場所は屋根を不燃材料で作るとともに、金属板その他の計量不燃材料でふき、かつ天井を設けないこと。 保管場所の床は、床面に水が侵入し、又は浸透しない構造とすること。 保管場所の床は、危険物が浸透しない構造とするとともに、適切な傾斜をつけ、かつ、適切なためますを設けること。 保管場所には危険物を貯蔵し、又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。 保管条件: 熱、火花、裸花のような着火源から離して保管すること。 -禁煙。冷所、換気の良い場所で貯蔵すること。 酸化剤から離して保管する。 容器は直射日光や火気を避けること。 容器を密閉して保管すること。 施錠して貯蔵すること。
安全な容器包装材料	情報なし

8.ばく露防止及び保護措置

管理濃度	50ppm(n体酢酸ペンチル、酢酸2-メチルブチル) 未設定(d体リモネン)
許容濃度	50ppm(n体酢酸ペンチル、酢酸2-メチルブチル) 未設定(d体リモネン)
日本産業衛生学会(2014年度版)	50ppm(n体酢酸ペンチル、酢酸2-メチルブチル) 未設定(d体リモネン)
設備対策	製造業者が指定するその他の防爆の電気、換気、照明機器を使用すること。 静電気放電に対する予防措置を講ずること。 蒸気の発生源を密閉する設備又は局所排気を設ける。 この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。
保護具	
呼吸用保護具	適切な呼吸器保護具を着用すること。
手の保護具	適切な保護手袋を着用すること。
目の保護具	適切な保護眼鏡を着用すること。
皮膚及び身体の保護具	適切な保護衣を着用すること。

9.物理的及び化学的性質

形状	液体
色	赤色
臭い	特徴的な臭い
ph	6-7.5
融点・凝固点	データなし
沸点	100℃
引火点	56.5℃
燃焼性(固体、気体)	非該当
燃焼又は爆発範囲の上限、下限	データなし
蒸気圧	データなし
蒸気密度	データなし
比重(相対密度)	1.02
溶解度	データなし
n-オクタノール/水分分配係数	データなし
自然発火温度	データなし
分解温度	データなし
粘度(粘性率)	データなし

10.安定性及び反応性

反応性	法規制に従った保管及び取扱いにおいては安定と考えられる
化学的安定性	通常の保管および取扱いの条件においては安定である。
危険有害反応可能性	通常の取扱い条件下では危険有害反応を起こさない。
避けるべき条件	高温、直射日光、硝酸塩、強酸化剤、強塩基、強酸との混合

混触危険物質
危険有害な分解生成物

硝酸塩、強酸化剤、強塩基、強酸
燃焼により、一酸化炭素、二酸化炭素。

11.有害性情報

皮膚腐食性及び皮膚刺激性 区分2の成分合計が10%であり、濃度限界(10%)以上のため、区分2に該当。
皮膚感受性 d体リモネンの濃度が6% \geq 1%のため、区分1に該当。
特定標的臓器毒性(反復ばく露) n体酢酸ペンチル、酢酸2-メチルブチルの濃度が2% \geq 1%のため、区分2(視神経)に該当。

12.環境影響情報

水生環境有害性(急性) 濃度限界(25%)以上のため、区分2に該当。
水生環境有害性(長期間) 濃度限界(25%)以上のため、区分2に該当。
オゾン層への有害性 モントリオール議定書の附属書に列記されていないため分類されない。

13.廃棄上の注意

残余廃棄物 廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。
都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。
汚染容器及び包装 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14.輸送上の注意

国際規制
国連番号 1169
国連品名 EXTRACTS,AROMATIC,LIQUID
国連危険有害性クラス 3
容器等級 III
国内規制
海上規制情報 船舶安全法の規定に従う。
航空規制情報 航空法の規定に従う。
陸上規制情報 消防法の規制に従う。

15.適用法令

労働安全衛生法 名称等を表示すべき危険有害物(法第57条、施工令第18条別表第9)
名称等を通知すべき危険有害物(法第57条の2、施行令第18条の2別表第9)
リスクアセスメントを実施すべき危険有害物(第57条の3)
危険物・引火性の物
第2種有機溶剤等
作業環境評価基準
消防法 第4類引火性液体、第二石油類水溶性液体
船舶安全法 引火性液体類
航空法 引火性液体
労働基準法 疾病化学物質

16.その他の情報

連絡先 株式会社前田シェルサービス

注意 記載内容は、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、現時点における化学又は技術に関する全ての情報が検討されているわけではありませんので、いかなる保証をなすものではありません。なお、新しい知見及び試験等により改正される事があります。また、注意事項は、通常取り扱いを対象としたものです。全ての化学製品には、未知の有害性があり得るため、取扱いには細心の注意が必要です。ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定下さるようお願い申し上げます。